

2027年度 公募制推薦入試 活動報告書 (1 / 2)

※記入不要

神戸学院大学長 様

活動評価
記載責任者名

年 月 日

以下の者について、活動評価の内容に相違ないことを証明します。

フリガナ	
志願者名	

【活動評価】

■ A 項目 高等学校（中等教育学校は後期課程）公認の団体（同好会・サークルを含む）に2年以上継続して在籍し、以下の評価項目に該当する者（1つ選択し、☒ を記入してください。）

コード	点数	評価項目			
101	5点	☐	主将または部長を1期または1年以上経験した者		
102	5点	☐	代表マネージャー*を1期または1年以上経験した者		
103	2点	☐	真面目に活動した者		
					☐ 該当なし

※代表マネージャーとは、マネージャーを取りまとめる（統括する）者のことを指します。マネージャーが1名の場合は、その者を代表マネージャーとして申請可能とします。

■ B 項目 高等学校（中等教育学校は後期課程）在学中に以下の評価項目に該当する者（1つ選択し、☒ を記入してください。）

コード	点数	評価項目			
201	8点	☐	生徒会（自治会）会長を1期以上務めた		
202	5点	☐	生徒会（自治会）の役員（会長を除く）を1期以上務めた		
203	5点	☐	体育祭・文化祭実行委員長を1期以上務めた		
204	5点	☐	3ヵ月以上の海外留学経験がある		
					☐ 該当なし

■ C 項目（Ⅰ群）以下の評価項目の資格・検定等を取得した者（高等学校〔中等教育学校は後期課程〕入学以前、卒業後の取得も可）

（Ⅰ群・Ⅱ群から、それぞれ1つずつ選択できます。☒ を記入してください。）

（試験名・検定名と主催団体名等が一致していることを必ずご確認のうえ、申請する内容を証明する資料（合格証書等）をA4サイズでコピーして同封してください。）

群	コード	試験・検定（主催団体名等）	点数	評価項目							
				15点		10点		6点		3点	
Ⅰ群	301	実用英語技能検定（英検）（日本英語検定協会） 〔英検 CBT、S-CBT、S-Interview 含む〕	☐	1級・ 準1級	☐	2級	☐	準2級プラス・ 準2級	☐	3級	☐
	302	TOEFL iBT® （ETS・TOEFL®テスト日本事務局〔ETSJapan 合同会社〕）	☐	72点 以上	☐	42点 以上	☐	35点 以上	☐	28点 以上	☐
	303	TOEIC®（ETS・国際ビジネスコミュニケーション協会） 〔IPテスト含む〕※L&Rのみ対象	☐	785点 以上	☐	550点 以上	☐	400点 以上	☐	300点 以上	☐
	304	TOEIC®（ETS・国際ビジネスコミュニケーション協会） 〔IPテスト含む〕※L&R/S&W（注）	☐	1560点 以上	☐	1150点 以上	☐	625点 以上	☐	320点 以上	☐
	305	GTEC 4技能版（ベネッセコーポレーション） ※オフィシャルスコアに限る	☐	1180点 以上	☐	930点 以上	☐	680点 以上	☐	260点 以上	☐
	306	IELTS（日本英語検定協会）〔アカデミック・モジュール〕	☐	5.5 以上	☐	4.0 以上	☐	3.0 以上	☐	2.0 以上	☐
											☐ 該当なし

（注）TOEIC® L&R/S&WについてはS&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアとする。（L&Rは990点満点、S&Wは1000点満点（400×2.5）の合計1990点満点）

■ C 項目（Ⅱ群）

群	コード	試験・検定（主催団体名等）	点数	評価項目							
				15 点		10 点		6 点		3 点	
Ⅱ 群	401	ITパスポート試験（情報処理推進機構）			☐	取得					
	402	ICT プロフィシエンシー検定〔P 検〕 （ICT プロフィシエンシー検定協会）※			☐	準1級 以上	☐	2級	☐	準2級・ 3級	
	403	実用数学技能検定〔数検〕（日本数学検定協会）	☐	準1級以上	☐	2級	☐	準2級	☐	3級	
	404	簿記検定（日本商工会議所）	☐	1級（日商）	☐	2級（日商）			☐	3級（日商）	
	405	簿記検定（全国商業高等学校協会）			☐	1級（全商）			☐	2級（全商）	
	406	珠算検定（日本商工会議所）					☐	1級（日商）			
	407	珠算検定（日本珠算連盟）					☐	準初段以上 （日本珠算連盟）			
	408	日本漢字能力検定（日本漢字能力検定協会）	☐	1級	☐	準1級	☐	2級	☐	準2級	
（注）ICT プロフィシエンシー検定については、2025 年 3 月末日までに受検したものを対象とする。									☐	該当なし	

（注）ICTプロフィシエンシー検定については、2025年3月末日までに受検したものを対象とする。

2027年度 公募制推薦入試 活動報告書 (2 / 2)

※記入不要

年 月 日

フリガナ	
志願者名	

■ D 項目 高等学校（中等教育学校は後期課程）公認部活動団体（同好会・サークルを含む）に所属し、対象となる地区大会または全国大会（下表）に出場した者（1つ選択し、☒ を記入してください。）※学校外のクラブチームは対象外。

【評価対象となる大会（関西大会、近畿大会など）】

- 国、都道府県、政令指定都市、都道府県教育委員会、政令指定都市教育委員会が後援する地区大会または全国大会（全国高等学校総合体育大会、全国高等学校総合文化祭など）
- 定時制・通信制・私立高等学校の地区大会または全国大会
- 国民スポーツ大会（旧：国民体育大会）
- 各種目協会または体育協会主催（後援も含む）による地区大会または全国大会

※上記（1～4）大会において「〇〇県高等学校選抜チーム」のように複数校の生徒で構成されている混成チームがしかるべき成績を収めた場合も対象。

※団体種目競技の場合は出場登録メンバー（リザーブ、ベンチ等の登録メンバーを含む）であること。

【体育活動・文化活動の評価対象とならない大会】

- 新人大会（1年生のみで実施された大会）など特定の一学年や年齢に限定した大会
- 企業や特定の団体、流派等が主催する大会

コード	点数	評価項目	
501	12点	☐ 予選（都道府県または地区大会 ^{※1} ）を勝ち上がり ^{※3} 、「全国大会 ^{※2} 」に出場した	①②③を記入
502	8点	☐ 予選（都道府県大会）を勝ち上がり ^{※3} 、「地区大会 ^{※1} 」に出場した	①②③を記入
503	2点	☐ 無条件で「地区大会 ^{※1} 」または「全国大会 ^{※2} 」に出場した	①②を記入
		☐ 該当なし	

※1 地区大会とは、近畿（関西）地区等の大会を指し、都道府県規模より上位の大会とします。

※2 全国大会とは、都道府県、近畿（関西）地区等の規模より上位の大会を指します。

※3 「予選を勝ち上がり」とは、「地区大会」または「全国大会」に出場するにあたり、予選となる大会（都道府県大会等）を勝ち上がり出場資格を得たことを指します。

①競技・種目名	(例：吹奏楽)
②対象となる大会名称	(例：2026年度 全日本吹奏楽コンクール 高等学校部門)

501、502 を申請する方は、その「地区大会」または「全国大会」の予選となる大会名称を記入してください。

③予選となる大会名称	(例：2026年度 関西吹奏楽コンクール 高等学校部門)
------------	------------------------------

■活動評価 合計

活動評価（A 項目～D 項目（群））の申請内容に相違ないことを確認のうえ、A 項目～D 項目（群）の点数を記入してください（A、B、D の各項目内、C 項目の同一群内を合算することはできません）。

A 項目	B 項目	C 項目 ※証明資料同封		D 項目	合計点(A+B+C+D) 30点を超える場合は30点とします
		I 群	II 群		
点	点	点	点	点	点